

## 産業廃棄物処理計画書

令和6年6月14日

新潟市長様

提出者

住所 新潟県新潟市東区津島屋七-77  
一正蒲鉾株式会社氏名 本社工場  
工場長 加藤 晴市

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 025-270-7132

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	一正蒲鉾株式会社 本社工場	
事業場の所在地	新潟県新潟市東区津島屋7-77	
計画期間	令和6年 年 4 月 1 日 から	令和7 年 3 月 31 日 まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	水産練り製品 製造業	
② 事業の規模	13300百万円	
③ 従業員数	460名	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	①動植物性残渣 自社で分別→運搬委託→乾燥・飼料化 ②動植物性残渣 自社で分別→運搬委託→飼料化 ③動植物性残渣 自社で分別→運搬委託→脱水・焼却 ④動植物性残渣 自社で分別→運搬委託→肥料化・堆肥化 ⑤動植物性残渣 自社で分別→運搬委託→発行・脱水 ⑥廃プラスチック 自社で分別→運搬委託→破碎・減容 ⑦廃プラスチック 自社で分別→運搬委託→焼却 ⑧廃プラスチック 自社で分別→運搬委託→破碎 ⑨汚泥 自社で分別・脱水→運搬委託→焼却 ⑩汚泥 自社で分別・脱水→運搬委託→焼却(乾燥・炭化) ⑪汚泥 自社で分別・脱水→運搬委託→発酵・乾燥 ⑫木くず 自社で分別→運搬委託→破碎 ⑬燃え殻(活性炭) 自社で分別→運搬委託→焼却 ⑭アルカリ廃液 自社で分別→運搬委託→活性汚泥 ⑮廃蛍光管 自社で分別→運搬委託→破碎 ⑯安定型混合廃棄物 自社で分別→運搬委託→破碎 ⑰管理型混合廃棄物 自社で分別→運搬委託→焼却 ⑱廃油 自社で分別→運搬委託→油水分離 ⑲廃乾電池 自社で分別→運搬委託→破碎	

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙に記載

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	①動植物性 残渣	②廃プラス チック	③汚泥	④木くず	⑤燃え殻 (活性炭)	⑥アルカリ 廃液	⑦廃蛍光 管・水銀灯	⑧安定型混 合廃棄物
	排 出 量	414.81 t	192.95 t	455.02 t	0.90 t	0.90 t	131.72 t	0.14 t	2.53 t
	産業廃棄物の種類	⑨管理型混 合廃棄物	⑩廃油	⑪廃乾電池	⑫がれき類				
	排 出 量	3.35 t	0.99 t	0.18 t	0.25 t				
(これまでに実施した取組)									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・動植物性残渣の50%を飼料化し、社内で意識的に飼料化の経路を活用しています。</li> <li>・自社生ごみ処理機を設置し、動植物性残渣を毎月5t前後の減容をしています。</li> </ul>									
② 計画	【目標】 ▲2%								
	産業廃棄物の種類	①動植物性 残渣	②廃プラス チック	③汚泥	④木くず	⑤燃え殻 (活性炭)	⑥アルカリ 廃液	⑦廃蛍光 管・水銀灯	⑧安定型混 合廃棄物
	排 出 量	406.68 t	189.17 t	446.10 t	0.88 t	0.88 t	129.14 t	0.14 t	2.48 t
	産業廃棄物の種類	⑨管理型混 合廃棄物	⑩廃油	⑪廃乾電池	⑫がれき類				
	排 出 量	3.28 t	0.97 t	0.17 t	0.25 t				
(今後実施する予定の計画)									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・動植物性残渣のうち水分量の低いものに関して自社生ごみ処理機で減容処理を行います。</li> <li>・廃プラスチックは包装資材の廃棄発生率・発生量を見直し、削減に取り組みます。</li> <li>・汚泥は工場内の使用水量を削減し、自社排水処理施設への負荷を低減に取り組みます。</li> </ul>									

## 産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】									
①現状	産業廃棄物の種類	①動植物性残渣	②廃プラスチック	③汚泥	④木くず	⑤燃え殻(活性炭)	⑥アルカリ廃液	⑦廃蛍光灯・水銀灯	⑧安定型混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
②計画	産業廃棄物の種類	①動植物性残渣	②廃プラスチック	③汚泥	④木くず	⑤燃え殻(活性炭)	⑥アルカリ廃液	⑦廃蛍光灯・水銀灯	⑧安定型混合廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
①現状	産業廃棄物の種類	⑨管理型混合廃棄物	⑩廃油	⑪廃乾電池	⑫がれき類				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
(これまで実施した取組)									
・取組の実績はありません。									
【目標】									
②計画	産業廃棄物の種類	①動植物性残渣	②廃プラスチック	③汚泥	④木くず	⑤燃え殻(活性炭)	⑥アルカリ廃液	⑦廃蛍光灯・水銀灯	⑧安定型混合廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
①現状	産業廃棄物の種類	⑨管理型混合廃棄物	⑩廃油	⑪廃乾電池	⑫がれき類				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
・今後の計画はありません。									

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】									
①現状	産業廃棄物の種類	①動植物性残渣	②廃プラスチック	③汚泥	④木くず	⑤燃え殻(活性炭)	⑥アルカリ廃液	⑦廃蛍光灯・水銀灯	⑧安定型混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	140.98	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	産業廃棄物の種類	①動植物性残渣	②廃プラスチック	③汚泥	④木くず	⑤燃え殻(活性炭)	⑥アルカリ廃液	⑦廃蛍光灯・水銀灯	⑧安定型混合廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
①現状	産業廃棄物の種類	⑨管理型混合廃棄物	⑩廃油	⑪廃乾電池	⑫がれき類				
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	
(これまで実施した取組)									
・自社生ごみ処理機を設置。 ・分別強化・投入品目による処理効率の調査									
【目標】									
②計画	産業廃棄物の種類	①動植物性残渣	②廃プラスチック	③汚泥	④木くず	⑤燃え殻(活性炭)	⑥アルカリ廃液	⑦廃蛍光灯・水銀灯	⑧安定型混合廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	143.80	t	t	t	t	t	t	t	
①現状	産業廃棄物の種類	⑨管理型混合廃棄物	⑩廃油	⑪廃乾電池	⑫がれき類				
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	
(今後実施する予定の計画)									
・投入量の増加に伴う排水処理への負荷の調査を実施し、今後も現状の取組を継続します。									

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】									
①現状	産業廃棄物の種類	①動植物性残渣	②廃プラスチック	③汚泥	④木くず	⑤燃え殻(活性炭)	⑥アルカリ廃液	⑦廃蛍光灯・水銀灯	⑧安定型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
②計画	産業廃棄物の種類	⑨管理型混合廃棄物	⑩廃油	⑪廃乾電池	⑫がれき類				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
・取組の実績はありません。									
【目標】									
①現状	産業廃棄物の種類	①動植物性残渣	②廃プラスチック	③汚泥	④木くず	⑤燃え殻(活性炭)	⑥アルカリ廃液	⑦廃蛍光灯・水銀灯	⑧安定型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	産業廃棄物の種類	⑨管理型混合廃棄物	⑩廃油	⑪廃乾電池	⑫がれき類				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
・今後の計画はありません。									

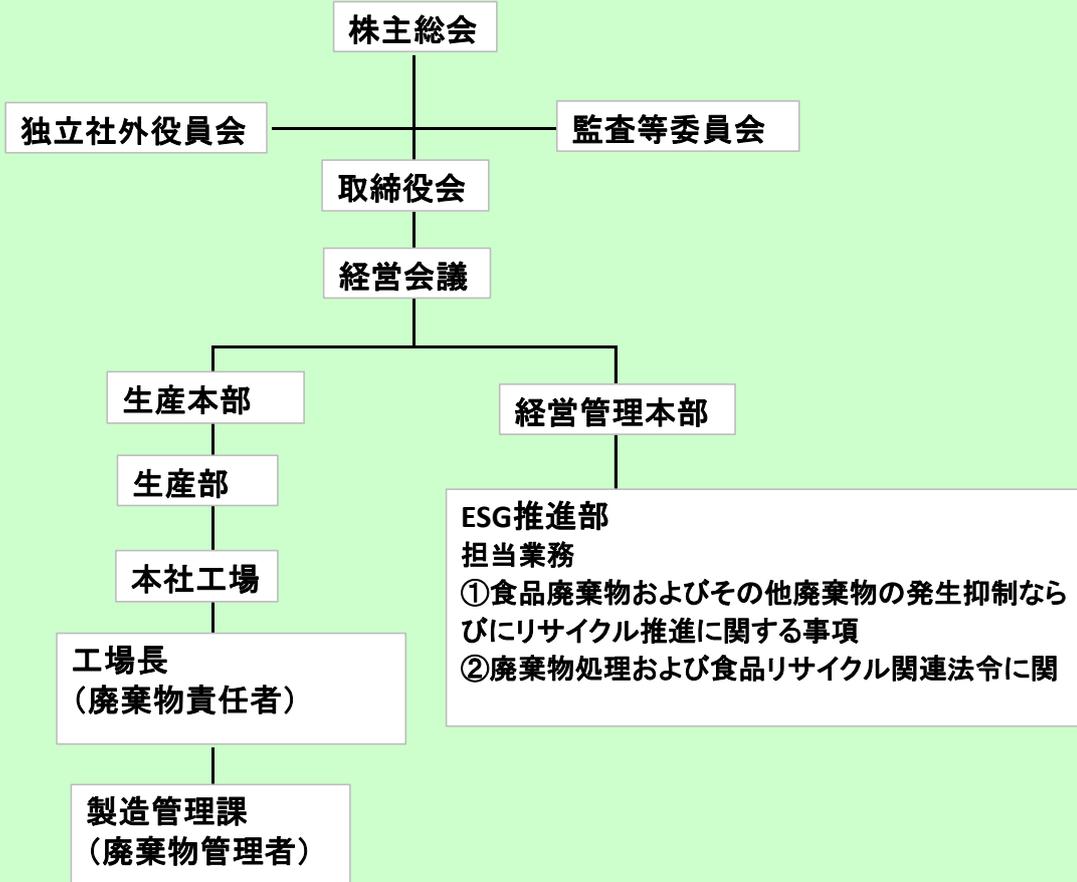
## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】																	
①現状	産業廃棄物の種類	①動植物性残渣	②廃プラスチック	③汚泥	④木くず	⑤燃え殻(活性炭)	⑥アルカリ廃液	⑦廃蛍光灯・水銀灯	⑧安定型混合廃棄物								
	全処理委託量	273.83	t	192.95	t	455.02	t	0.90	t	0.90	t	131.72	t	0.14	t	2.53	t
優良認定処理業者への処理委託量	160.90	t	172.74	t	243.57	t	0.90	t	0.90	t	131.72	t	0.14	t	2.53	t	
再生利用業者への処理委託量	273.83	t	192.95	t	455.02	t	0.90	t	0.90	t	131.72	t	0.14	t	2.53	t	
認定熱回収業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t	
②計画	産業廃棄物の種類	⑨管理型混合廃棄物	⑩廃油	⑪廃乾電池	⑫がれき類												
	全処理委託量	3.35	t	0.99	t	0.18	t	0.25	t								
優良認定処理業者への処理委託量	3.35	t	0.00	t	0.00	t	0.00	t									
再生利用業者への処理委託量	3.35	t	0.99	t	0.18	t	0.25	t									
認定熱回収業者への処理委託量		t		t		t		t									
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t		t		t									
(これまでに実施した取組)																	
・委託基準に従い、産業廃棄物を委託できる業者を選定し契約を実施しています。																	

① 計 画	【目標】										
	産業廃棄物の種類	①動植物性 残渣	②廃プラス チック	③汚泥	④木くず	⑤燃え殻 (活性炭)	⑥アルカリ 廃液	⑦廃蛍光 管・水銀灯	⑧安定型混 合廃棄物		
	全処理委託量	406.68 t	189.17 t	446.10 t	0.88 t	0.88 t	129.14 t	0.14 t	2.48 t		
	優良認定処理業者 への処理委託量	157.75 t	169.35 t	238.79 t	0.88 t	0.88 t	129.14 t	0.14 t	2.48 t		
	再生利用業者 への処理委託量	406.68 t	189.17 t	446.10 t	0.88 t	0.88 t	129.14 t	0.14 t	2.48 t		
	認定熱回収業者 への処理委託量										
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量										
	産業廃棄物の種類	⑨管理型混 合廃棄物	⑩廃油	⑪廃乾電池	⑫がれき類						
	全処理委託量	3.28 t	0.97 t	0.17 t	0.25 t						
	優良認定処理業者 への処理委託量	3.28 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
	再生利用業者 への処理委託量	3.28 t	0.97 t	0.17 t	0.25 t						
	認定熱回収業者 への処理委託量										
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量										
(今後実施する予定の取組)											
<ul style="list-style-type: none"> <li>再生利用等が可能な産業廃棄物については、積極的に再生利用業者へ委託します。</li> <li>委託先処分業者には定期的に現地確認を実施いたします。</li> </ul>											
※事務処理欄											

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



**産業廃棄物処理計画書（集計用シート）**

<b>提出者の名称</b>	本社工場工場長 加藤 晴市	<b>提出者の住所</b>	新潟県新潟市東区津島屋七-77一正蒲鉾株式会社
<b>事業場の名称</b>	一正蒲鉾株式会社 本社工場	<b>事業場の所在地</b>	新潟県新潟市東区津島屋7-77
<b>内容年度</b>	<b>年度</b>		

（単位：トン）

廃棄物の種類	現状／計画	排出量 A	自社内での処理状況				委託先での処理状況				
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量			
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J
①動植物性残渣	現状	414.81			140.98		273.83	160.90	273.83		
	計画	406.68			143.80		406.68	157.75	406.68		
②廃プラスチック	現状	192.95					192.95	172.74	192.95		
	計画	189.17					189.17	169.35	189.17		
③汚泥	現状	455.02					455.02	243.57	455.02		
	計画	446.10					446.10	238.79	446.10		
④木くず	現状	0.90					0.90	0.90	0.90		
	計画	0.88					0.88	0.88	0.88		
⑤燃え殻 （活性炭）	現状	0.90					0.90	0.90	0.90		
	計画	0.88					0.88	0.88	0.88		
⑥アルカリ廃液	現状	131.72					131.72	131.72	131.72		
	計画	129.14					129.14	129.14	129.14		
⑦廃蛍光管・水銀灯	現状	0.14					0.14	0.14	0.14		
	計画	0.14					0.14	0.14	0.14		
⑧安定型混合廃棄物	現状	2.53					2.53	2.53	2.53		
	計画	2.48					2.48	2.48	2.48		
⑨管理型混合廃棄物	現状	3.35					3.35	3.35	3.35		
	計画	3.28					3.28	3.28	3.28		
⑩廃油	現状	0.99					0.99	0.00	0.99		
	計画	0.97					0.97	0.00	0.97		
⑪廃乾電池	現状	0.18					0.18	0.00	0.18		
	計画	0.17					0.17	0.00	0.17		
⑫がれき類	現状	0.25					0.25	0.00	0.25		
	計画	0.25					0.25	0.00	0.25		
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
合 計	現状	1,203.74			140.98		1,062.76	716.75	1,062.76		
	計画	1,180.14			143.80		1,180.14	702.70	1,180.14		